

2003年にかかる北陵健児 先輩に続けとダッシュ!



同窓会報

平成15年度春季号



発行 宮城県仙台第二高等学校
同窓会事務局
仙台市青葉区川内瀬橋通一
番二一五六一(直通)
印刷 創文印刷出版株式会社
仙台市青葉区大手町六番二号

平成15年度 同窓会総会のご案内

1. 日 時：平成15年 7月5日(土) 総会17時 懇親会18時(受付時間は16:30~)
2. 場 所：仙台ホテル(仙台駅前) 3F大ホール
3. 懇親会費：6,000円
4. 申込締切：6月25日(水)
★出席会費は当日、会場でお支払い下さい。
★出席申込は、下記の申込先に、葉書又はFAXをお願いします。
5. 申 込 先：〒980-8631 仙台市青葉区川内瀬橋通1
仙台二高同窓会事務局 TEL 022-221-5651 FAX 022-221-5686
6. 当 番 回 期：高14、26、27、38、39回

この回期の方々は常任委員を中心にご協力をお願いいたします。

★なお、当日は、本号を御持参下さい。

同期の方、
お誘い合わせの上、
ご参加下さい。

入学式辞

校長 佐藤 隆 信



季節は春。花咲き鳥歌い、自然界は生き生きと活動を始め、正に躍動の季節を迎えました。この北陵の庭の桜も綻び、本格的な春の到来を思わせる今日の佳き日、宮城県仙台第二高等学校平成十五年入学式挙行にあたり、公私共にご多用のところ、本校同窓会会長西澤潤一殿、本校PTA会長佐々木健一殿をはじめ、本校ゆかりの多数のご来賓各位のご臨席を賜りましたことに、衷心より厚く御礼申し上げます。

さて、只今入学を許可しました三二〇名の諸君、入学本当におめでとう。今年度も本校では、推薦入試・一般入試共に、厳しい選抜が行われました。君たちはその難関を見事に突破され、選ばれて入学できました。入学を心から祝福しそして歓迎します。

また、ご列席の保護者の皆様には、長年にわたるご慈愛の甲斐あって本校に入学されたお子さんの晴れがましい姿をお見受け、喜びもさぞかし一人のものがあるうかと推察しております。保護者の皆様にも心からお祝い申し上げます。

新入生の諸君は、これまでの九年間の義務教育を終えられて、これから三年間にわたる本校での高校生活がいよいよ始まりです。仙台二高生としての第一歩が始まります。今、君たちは、入学の喜びとこれから始まる高校生活への期待で、胸を一杯にしていることと思います。一方で、これからの高校生活に、少なからず不安を抱えているかも知れません。ともあれ一日も早く本校の生活に馴染み、仙台二高の生徒として多くのことを学び、多くの面で活躍する一人となることを願っております。

ところで、諸君もよく知っているように、本校は、創立一〇四年目を迎えた、県下でも長い歴史と輝かしい伝統を誇る、屈指の名門校であります。本校は明治三十三年に創立されました。以来今日まで、宮城を代表する教育の殿堂として、高い知性と豊かな情操を備え、社会に貢献し得る有為な人材の育成のために限りない力を尽くし、その責任を果たして参りました。これまで本校に学んだ卒業生は、二万五千八百余名を数えておりますが、同窓生諸氏の方々は地域社会はもとより、世界の第一線において、目を

見張るような活躍をされております。現在景下には一〇〇を超える高校がありますが、これまでの先輩の皆様のなみなみならぬご努力ご活躍により、宮城に仙台二高ありと言われるような、非常に評価の高い学校へと成長し、今や揺るぎない不動の地位を確立いたしました。このような本校での高校生活が、これから始まろうとする新人生諸君にとって、今大きな夢と希望に胸を膨らませ、新たな意欲に燃えていることとは思いますが、一層の激励のために、高校生活の指針となるべき三つのことを申し述べたいと思います。

その一つ目として、「仙台二高生として、目と顔が一層輝く高校生になれ」ということであります。諸君は更に高い学問、知識、教養などを身につけ、心身ともにより立派な人間として成長するために、本校に入學したわけであり、すから、まず勉学を第一と心がけ努力することは当然であります。しかし、高校生活は勉学だけではありません。部活動や生徒会活動、あるいは学校行事やボランティア活動など、多方面にわたり活躍できる場があります。どうかそれらに積極的に参加し、素晴らしい経験を積み重ね、一層自己を磨き、心豊かな人間として立派に成長することを期待したい。仙台二高生は、学校生活に感動を求め、何事にも積極果敢に挑戦し、意欲的に高校生活を続けております。そして、仙台二高生として真に誇れるような、生き生

きとした高校生活をしております。どうか諸君もそのようになります。な仙台二高生の一人になって、先輩諸君と一緒に活躍する毎日であることを期待しております。

二つ目として、「高校生活に高い目標を持つ」ということであります。単なる目標ではありません。高い目標であります。毎日の目標、毎週の目標、毎月の目標、そして各学期の目標、更には各学年の目標など、きちんと定め、その実現のために弛まぬ努力を続ける仙台二高生であって欲しいと願っております。高校生活の中には、自分で目標を立て、自分で取り組まなければならぬことが沢山あります。本校生は、当然のように全員が進学を希望し、それぞれ目標達成に向かって取り組んでおります。「自分の未来は自分で切り拓く」そんな気概を忘れることなく、自分の目標に向かって力強く歩み続ける仙台二高生であって欲しい、と念じております。諸君はもともと素晴らしい能力、優れた素質をもって本校に入學しました。本校においてそれらを存分に育み、一層発揮することにより、一人一人の夢と希望が実現される高校生活となることを期待しております。

三つ目として、「本校の素晴らしい伝統の後継者になる」と同時に、輝かしい歴史の創造者になれ」ということであります。本校には建学以来の、質実剛健の精神が、文武一道となつて伝統的校風を支え、

さらには燦然と輝く栄光の数々が限りなくある学校でもあります。それらは、これまでの幾多の先輩の皆様の限りのご努力、ご活躍によって築かれた、素晴らしい実績の賜物であります。今日から諸君はその伝統と歴史を受け継ぐ後継者になると同時に、さらに輝かしい歴史を創る責任と使命が課せられていることを白覚しなければなりません。本校を益々発展させる一人になって欲しい、と心から願っております。新入生の諸君は、以上のことを肝に銘じ、明るく健やかに、そしてかけがえのない充実した高校生活を送ることを、心から期待しております。

終わりに、保護者の皆様に申し上げます。私ども教職員は、本日より皆様のお子様を責任をもってお預かりいたします。そして、本校の教育目標にありまうように、至誠の心を大切にしつつ学業に励ませ、雄大かつ剛健な氣風を養なわせ、さらにはお互いに敬愛し切磋琢磨の心を一層育みたいと考えております。知・徳・体の調和ある練磨を通して、社会に貢献できる強靱な心身と、豊かな個性が身につくような教育を実践することにより、真に二十一世紀を担うことができるとする。仙台大生となるよう、教職員一丸となって誠心誠意情熱を傾けて参ります。どうか本校の教育方針をご理解の上、何かとご協力を賜りますようお願い申し上げます。辞といたします。

平成14年度事業報告

5月20日	月	同窓会総会 第1回当番期打合せ (高13, 25, 26, 37, 38)	北陵館	18時
6月7日	金	同窓会報総会案内号 発行		
6月14日	金	常任委員会	北陵館	18時
6月28日	金	同窓会総会 第2回当番期打合せ (高13, 25, 26, 37, 38)	北陵館	18時
7月6日	土	同窓会総会 懇親会	仙 台 ホテル	17時
9月24日	火	第1回総務委員会	北陵館	18時
10月28日	月	第2回総務委員会	北陵館	18時
11月26日	火	PTA・同窓会合同新年会 第1回当番期打合せ (高14, 26, 27, 38, 39)	北陵館	18時
12月5日	木	同窓会報35号発行		
12月17日	火	同窓会から学校へ教科指導補助 費等の寄付	校長室	
1月9日	木	PTA・同窓会合同新年会 第2回当番期打合せ (高14, 26, 27, 38, 39)	仙 台 ホテル	18時
1月15日	水	PTA・同窓会合同新年懇親会	仙 台 ホテル	18時20分
2月28日	金	同窓会入会式	仙 台二 高講堂	10時
3月27日	木	第3回総務委員会	北陵館	18時

平成15年度事業計画

5月23日	金	同窓会総会 第1回当番期打合せ (高14, 26, 27, 38, 39)	北陵館	18時
6月11日	水	常任委員会	北陵館	18時30分
6月20日	金	同窓会報春季号 発行		
6月24日	火	同窓会総会 第2回当番期打合せ (高14, 26, 27, 38, 39)	仙 台 ホテル	18時30分
7月5日	土	同窓会総会 懇親会	仙 台 ホテル	17時
10月		同窓会からの教科指導補助費の 寄付	校長室	
11月		PTA・同窓会合同新年会 第1回当番期打合せ (高15, 27, 28, 39, 40)	北陵館	18時
12月		同窓会報36号発行		
1月		PTA・同窓会合同新年会 第2回当番期打合せ (高15, 27, 28, 39, 40)	北陵館	18時
1月13日	火	PTA・同窓会合同新年懇親会 (高15, 27, 28, 39, 40)	仙 台二 高講堂	18時20分
2月27日	金	同窓会入会式	仙 台二 高講堂	10時
総務委員会 2ヶ月に1回で開催予定			北陵館	18時
IT委員会 開催予定			北陵館	



**PTA・同窓会
合同新年懇親会次第**

去る平成十五年一月十五日
仙台ホテルを会場にして恒例
のPTA・同窓会合同新年懇
親会が六〇名を超える出席
者のもと、盛大に開催された。
式次第は次のとおりである。

Ⅰ部(進行 事務局長 石井)

- ①開会の辞
- ②校歌斉唱
- ③挨拶
- ④来賓紹介・代表挨拶
- ⑤クラブ活動後援会・教科
指導費補助金の贈呈
- ⑥在仙会員叙勲者へ記念品
贈呈

勲一等瑞宝章 西澤 潤一(中44回)
勲三等瑞宝章 菅原 英夫(中42回)
勲五等瑞宝章 今井 正晴殿(高3回)



勲五等瑞宝章 本郷 嘉男殿(中37回)
黄綬褒章 伊藤 米男殿(高7回)
黄綬褒章 熊谷 真人殿(高12回)
⑦幹事代表挨拶
(高14回 笹気)

⑧鏡開き
学校長・PTA会長・
同窓会会長

⑨乾杯

Ⅱ部(進行 高26回 阿部)

- ⑩祝宴
- ⑪アトラクション
・マジック・福引
- ⑫応援歌斉唱 高14回・高
26回・高27回・高38回・
高39回
- ⑬万歳三唱
PTA副会長
(阿部 亮 高22回)
- ⑭閉会の辞
石井同窓会副会長

新世紀の活動を模索 総務委で活発な議論

第三回総務委員会は十一月
二十七日(水)に北陵館で開催、
議長団のリードによって真剣
な議論が行われた。

①再開された新北陵会の活動
を評価し、今後の同窓会と
の関連、支援の仕方などに
ついて議論が行われた。

②IT化については、会員の
取り組みなどについて説明
があり、委員会の設立の方
向を確認、とりあえず準備
会を開き整理検討を行うこ
ととした。

③名簿管理については同窓会
組織としては最重要事項で
あるので今後あらゆる手段
を通じて取り組む必要を確
認。

④年会費納入状況について各
回別実績資料が提出され
実情が把握された。

⑤同窓会事務局の機能アップ
の必要性が指摘された。

第四回総務委員会は三月二
七日(木)北陵館で開催され、
十五年度予算と事業計画につ
いてそれぞれ試案が示され、
今後、時代即応と会員ニーズ
を踏まえた同窓会活動を展開
していくための情報の共有が
行われた。

IT委の準備会開催

総務委員会の議論を受けて同窓会IT委員会の設置に向けて準備会がスタートした。

準備会は四月十七日(木)

と五月二〇日(火)の二回開催された。同窓会事務局のパソコンのハード・ソフトの点検、同窓会のホームページの状況、今後の対応について協議が行われた。

IT計画は、同窓会関係組織の情報交換を活発にし、同窓会活動の活性化を目的にしていけること、広く同窓会員が参加できること、同窓会名簿の正確度を上げることなど幅広い機能が期待できる。

委員会は五名程度の小人数の編成としてITに詳しいメンバーと別な観点からの提案者も加えて立ちあげることで、第三回の準備会は六月十八日(水)に開催予定。

準備会メンバー

菊田 健三(高22回)

藤川 智雄(高23回)

森 俊之(高31回)

事務局 高橋 正道(高3回)

石井 康宏(高31回)

ホームページ

メールアドレス
http://www.sendainiko.com
info@sendainiko.com

支部総会
同期会

開催報告

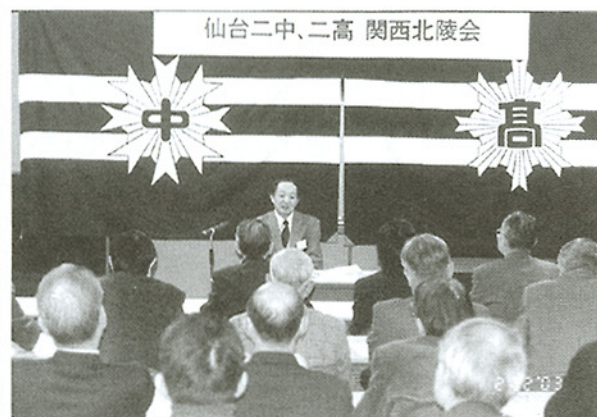
関西北陵会

第5回総会開催

関西北陵会では、去る2月22日(土)午後2時より、大阪市淀川区にある博愛社博愛の園ホールにおいて、母校より佐藤三之学校長並びに石井敏夫同窓会副会長にはお忙しい中にも拘わらずご来賓を仰

ぎ、定時総会を開催した。雨空の下ではあったが、参加者は30名で、関西の大学に在籍の4名も参加し、例年になく多数の出席となった。校歌斉唱に続いて、物故者4名を慰霊し黙祷を捧げた後、議事次第に則り順次進行し、役員改選を行って本総会を無事終了した。

その後、高校4回卒業の佐藤康彦氏(京



佐藤氏ご講演

都大学名誉教授)より「アシュケナジウム(ドイツ系ユダヤ人)について」のタイトルで一時間のご講演を賜り、講演後には会場からも活発な質問が飛び交うなど有意義な講演会となった。引き続き、記念撮影のあ

と同会場において恒例の懇親会を開催し、短い時間ではあったがお互いに近況報告をし合うなどし、老若が大いに交流を深め、結束を更に固めることが出来たように思われる会となった。今回参加の大学生諸君も次回は他の二高卒の同期生を連れて来ると言ってくれるなど、本会の特徴であるOBと学生が一体となった同窓会活動が今後一段と活発になりそうな気配を感じることが出来たことは、大いなる成果であった。

終了の時間になり、帰仙される佐藤学校長、石井副会長をお見送りした後もさらに半時間ほどオーバーしても会が盛り上がる一方で、名残惜しさはあったが会場の関係もあり、凱歌を皆で斉唱してお開きとし散会した。

(文責：齋)



記念撮影

二〇〇三年関西北陵会
総会式次第

日時 2003年2月22日(土)

午後2時より

場所 博愛社 博愛の園ホール

大阪府淀川区十三元今里

1 開会の辞

2 第5回総会

①校歌斉唱

②物故者慰霊(黙祷)

・桑島 忠氏(中30回)

〈平成12年8月ご逝去〉

・古山 顯二氏(中38回)

〈平成14年1月ご逝去〉

103817

・菊山 秀雄氏(中39回)

〈平成14年7月ご逝去〉

1038039

・安喰 英夫氏(高13回)

〈平成14年10月5日ご逝去〉

2013323

③会長挨拶

④来賓ご挨拶

仙台第二高等学校校長

佐藤 三之氏

仙台第二高等学校同窓会副会長

石井 敏夫氏

⑤2004年活動状況報告

⑥会計報告・会計監査報告

⑦役員改選、2005年活動計画

3 ご講演

京都大学名誉教授

佐藤 康彦氏(高4回)

「アシュケナジウム(ドイツ系ユ

ダヤ人)について」

4 記念撮影

5 懇親会

6 凱歌



旭影会

第11回総会開催

(仙台二中第46回生)

高橋 昭(中46回)

日時 平成15年4月18日(金)

場所 母校訪問並びに観桜のた

め「北陵館」十五時集合

総会懇親会

仙台ホテル

十七時〜二十時

代表幹事桃生和夫君から原稿
依頼があり一瞬戸惑ったが快く
承諾した。

離仙して五十年、卒業以来母
校の桜花に接することなく、常々
機会があればとの思いが強かつ
た。幸いにして旭影会総会案内
を頂き、安岡鎮雄君から仙台北
公園紅枝垂桜の一枚の絵手紙に
よって参加意欲は増幅されて決
意した。

私は集合時刻前に一足お先に
見学とばかり母校玄関前に乗り
付けたところ、既に先客・武山
茂蔵君の姿があったのだ。まる
で出迎えているように。邂逅か。
固い握手の挨拶後、同じ目的の
白雲屋に向い、深呼吸のもと、
カメラを向け合った。六十年前
を語るには短時間だ。期友二十
名も白雲屋から校舎周辺、校庭
周囲を望み、万葉の桜に包まれ

ながら感慨に耽ったのであった。
生徒時代は校庭から見上げ、今
朝礼台に立ち梯形状の白雲屋は
過去を蘇らせるものである。老
樹に接して改めて月日の重みを
知らされたが、その側に若木の
植栽を見て希望を繋いだ。校舎
隅の花びらの吹き溜まりと北海
道の吹雪を重ねてもみた。

バスにて仙台ホテルに移動

総数三十一名の記念撮影後、物
故者の冥福を祈り、校歌斉唱、
安岡鎮雄幹事の司会で総会議事
に入る。永年代表幹事として活
躍されている桃生和夫君が体調
を理由に本会限りで辞任した
旨の意志表示があり対応を幹事
会に一任した。

次回総会は喜寿の会として平

成十七年度、松島他数ヶ所が候

補地に上ったがこれも検討する

こととなる。

東京旭影会総会の現況報告が

飛田昭三君からあり、活発な活

動内容の披露があった。

我が旭影会も仙台及び首都圏

において発展し続けている。懇

親会では顔と氏名が一致せず

「誰や」と聞く仕末。二時間は

短いよ、という声。お互い確

かめ合う雰囲気だ。時の経つ

も忘れての歓談・痛飲と懐かし

労に感謝し、凱歌を歌い、万歳
三唱、お互い健康維持を祈念し、
再会を誓って閉会した。

◎叙勲・受章◎
平成十五年春
勲二等瑞宝章
和田 徳男 殿(中46回)
心よりお慶び申し上げます。



会 員 短 信

在関西二中同窓会の思い出

中39回卒 萩原 卓

同窓会報第35号の計報に載った山中健一さん、彼の父親は大正7年10月に二中学生が蔵王山で遭難したとき殉職された先生の一人でした。その時遭難した生徒と同行した石田武男氏20回卒に私は昭和3年頃会いました。氏は仙台高工電気科・東北大学工学部卒大坂府大の教授で電気化学が専門でした。私と二中・仙台高工が同級の安積利一君は電池メーカーにいた関係で、石田先輩を知って紹介してくれました。

その当時、私と同期で東北大卒の田所淑郎君が石田先輩と共に同窓会の世話をしていました。常連の先輩方の記憶を辿ってみますと、20回卒村山高氏は阪急診療所医師で奥様のリウさんは村山源氏物語で有名な方。21回卒の菅原昌人氏は、松川事件裁判の弁護

誇るべき友垣

中40回卒 青山 史朗

昭和二十五年仙台二中在京同窓会が新橋のステーションホテルで開催された時初めて出席して以来五十余年に及ぶ同窓会活動と勉強会「北社会」を主宰して二十四年の間に懇意になった同窓生は四百人くらいおられるが、特に敬愛してやまぬ友人を紹介する。

山川民夫氏（中三十九回）

東京大学医学部名誉教授、日本学士院会員。生化学学会の長老として学会に発生する難問題に公正な裁定を行い尊敬されている。最近は定年後

二瓶一郎岐阜歯科大教授、奥原真平東急道路工業営業部長の諸先輩が出席されました。また、昭和31年夏には二高野球部が甲子園大会に出場したので、皆でカンパを募り応援に出かけました。慶応高を破りベスト8に進出し二中野球史を飾ったことが強く印象に残っています。

（注・先輩の職業は昭和55年の同窓会名簿による）

今にして思えばこの件について、同窓の甘えから謝礼金も差し上げなかったことを心の底から恥じている。

吉田直哉氏（高一回）

元・NHK特別主幹 作家 日本テレビ開始五十周年の華やかな思い出特集が放映されているが、その草創期からすべて独創で制作を担当し、

北社会忘年ゴルフ始末記

中40回卒 青山 史朗

平成十四年十二月十九日十六名の会員が武蔵野の面影を残す桶川の大宮ゴルフに集合し初冬の日ざしの中で一戦を交えたが終了後忘年会を開催

した。異色の出場者と戦績を紹介すると、優勝は平磯哲男君でG83打H10N73で往年の甲子園での活躍を忍ばせ二位沢田

数多の話題作・名作を作り上げた氏の功績を讃える番組にその姿が登場しないことを残念に思う。なぜなら彼は今ガン大病後の静養中で、専ら文筆活動にその優れた才能を傾けているからである。氏の父君は吉田肉腫で有名な富三先生で、本年生誕百年を迎えた生物学者であるが、長崎医大から東北大に転動したために原爆にも遇わず、直哉氏も仙台二高に転校してきたのである。昨秋彼はガンセンターで、多くの医師の聴衆の前で「私はガンでは死なない」という闘病談を声帯をなくした喉を振り絞り講演を行い大きな感動を与えたそうである。毎朝木刀百本の素振りや健康回復に努めている氏の逞しい生き方に拍手を送り、ひたすら再起を願っている。



13回生塩出俊一君は当日をもって三十二年の富士通勤務を退職する由で慰労の宴ともなった。同期の進藤正勝君は東京のゴルフ場開設の最高責任者であったので腕前が期待されたが、経営と実技の意外な結果に落胆。

川越でそば打ちに転身した鈴木壮夫君、伊藤忠アフリカ総支配人原芳道君やブラジル出光役員の前原卓彦君たち帰国組をまじえた11回ビンビン回の面々は元氣だけがとりえでスコアは伸びなかったが、紅一点原夫人のプレイは華麗で、母校男女共学の良さを先取りした感があつた。斯くいう私はすでに傘寿を過ぎても週一回のプレイを欠かさずゴルフが生活の全てなのだが、何とかしてエイジシユウトを達成したいと夢見ている。

時間と規則は守る為にある

中40回卒 佐久間博信

時間と規則は守る為であり、守ることで総ての社会も組織も成立して動く。

経済や技術の世界は、取引の契約・約束を守ること、信用されて継続するのである。

国土狭小で天然資源に乏しい日本は、国民の努力と勤勉そして創意と貿易に頼らねば繁栄はしない。

戦後、技術営業の仕事に入り、外国人と関係して特に痛感した。

然し、時間も規則も守るのは難しい。私は父が規則に厳しい職業軍人で鍛えられた。規則を守るのは、時には命がけとなる。昭和十九年五月、私の部隊は中国より南方戦線に輸送船で移動、出発前に遭難した時のボートに乗る順など乗船の規則の説明があつた。

順位は、軍旗と護衛、傷病兵、軍医、連隊長他、通信暗号係、大中隊長等で、後は年令順となっていた。

二三才の小隊長の私は、なんと中隊では最も若い者の一人で、順位はビリから二〇番目。

不幸にして五月六日、セレベス海で撃沈され、筏につかまって十一時間半漂流した。その間、幾度も海軍の救助ボートが来たが、歯を喰いしばって年上の兵を先に乗せた。

この為、戦後の戦友会でも堂々と隊長として上座に座っている。

続 南京事件の眞偽

中40回卒 佐久間博信

前回の私の記事は多くの同窓諸兄より、意見質問があり、更に阿羅健一（高14）氏より今氏研究の南京事件の著書を頂きました。

この事件は戦争経験のない現代の日本人に、大きな衝撃を与えて居たと思います。

特に「南京三〇万大虐殺」と報道されていますが、現代の中国・台湾共に虐殺の字は使用していません。屠殺を使っています。これは理由なく殺す意味で、残酷に殺す虐殺とは違い多くは日本の戦災死と同じです。

日本は前大戦で空襲による国民の死者は、終戦後に米軍の調査で八五万人、正確な数は日本政府内で三通りあった（消防・警察・陸軍）と言われます。

また、中国政府（当時も現在も）は、戦後の戦友会でも堂々と隊長として上座に座っている。

規則は守る為にあると痛感するものである。

（在も）は、南京防衛戦で戦った中国軍将兵と戦死・捕虜数の正確な公表はありません。

その為、防衛軍の戦死傷と南京市民の地域別の戦災死は公表して居りません。更に虐殺写真もありません。

この私の説明に、南京事件の本に斬首された首の写真は？と質問がありました。あの写真は残念ながら中国軍に捕虜になった日本兵のものでした。

南京事件の最近の研究本は「南京虐殺研究の最新線」

展望社

平成十四年版 東中野修

道編 最も詳しく正確なのは偕行社発行の「南京戦史四巻」ですが絶版となって居ります。

今後とも質問（文書）にはお答えします。

清流会の想い出 その二

中41回卒 菅井 富

清流会は五年二組で所謂軍人組と言われ、陸海空の軍人を志望する人が殆どであった。しかし終戦後ですでに四名の遺族を招待し、昭和二十四年六月、仙台市八幡町の三瀧温泉にて初めての総会を行った。その席上ご遺族から、遺族も会員にして欲しいとの要望があり、その時より特別会員として私達と一緒に過ごして来た。他の会には見られないことではないだろうか。卒業当時在籍者は四十五名であったが、現在は名誉、特別会員

二十三名、会員二十五名である。私達の唯一の楽しみである総会は、毎年行うことにしている。初めの頃は終戦後のごたごたしていた時世でもあり、会合も少なかった。昭和五十年以降は毎年休まずに総会を開いて来た。当時は横澤先生を会長に、在学中に教えて戴いた氏江、堀見、高槻、島田先生をご招待し会合を開いた。

言葉と姿勢はエネルギー

中43回卒 若生幸一郎



NHKテレビでも取り上げられた著名なシスターが言っています。
「口から出た言葉は、その話し手のエネルギーの状態に影響

『横澤先生と最後の総会、於金華山 昭三九・七』

響を与える。言葉自体が空間の波動であり、エネルギーを集め、自分で考えたり喋ったりしながら、自分自身の弱さや強さを作り上げている。諦めるのも自信を持つのも、その原因は、自分の心の中にある。」
また、生涯一人の力で闘いに勝った宮本武蔵五輪書に、試合必勝の身なりとして、
「まず、顔はうつむかず仰向かず、曲げず、視線を乱さず、

昔の集合写真を見ると、昨日の様に思われ懐かしを感じる。総会も若く元気な時は、二十数名集っていたが、現在は歳とともに病人も多くなり、十名前後で酒量も一段と少なくなってきた。

毎年行っている総会も四、五年に一度は、地方の温泉に一泊でゆっくりと語り合う機会を設けた。今まで作並、秋保、金華山、紫、赤湯、土湯温泉など級友のお世話で行われた。とくに横澤先生は作並の岩風呂が大好きだった。
(つづく)

湖畔の宿

中45回卒 尾高 惇彦

私たちもとうとう、四年間慣れ親しんだ仙台二中の校舎から別れる日がやってきた。卒業ではない。進学でもない。勤労動員によって苦竹の陸軍造兵廠で働くためだ。お国のために学業を放棄してでも、戦いに勝つための労働に従事することに、勇躍奮起する気持ちこそあれ拒否感はない。前大戦中の昭和十九年頃だったと思う。

最後の日、クラス全員がなんととはなしに教室に屯していたが、誰一人として言葉を発する者はいなかった。

その静寂の中から、誰かが小声で歌い始めた。
「山の寂しい湖に

眉の間に皺寄せて、目の玉動かさず、顔つきはゆったり見えるように、鼻筋を真直に立て、顎は心持ち突き出す位がいい。背筋を真直に、尻は出ないように、膝から足先まで力を入れ、腹を張って腰が前かがみにならないようにせよ。……云々」

間もなく八十路を迎える、

中43回卒の今も変わらぬ最大の自信と誇りは、「蔵王突破百キロ行軍」蔵王山を越えて仙台から山形まで、完全武装で幕営しながら徒歩で三日間、落伍者なしで踏破したこと。やれば出来る!!

後輩諸君、自分の言葉の持つ恐るべき力と、必勝の姿勢で大きく羽ばたいて欲しい。

一人来たのも悲しい心胸の痛みにあたえかねて昨日の夢と……」

すかさず、山路が口笛で伴奏を加えた。いつしか私も、福山も佐伯も福山も小野寺も、全員が大声で合唱していた。そのとき、暴れん坊の悪戯鬼だった連中の目に涙が浮かんでいた。

歌謡曲『湖畔の宿』は、心に沁みる歌だった。

翌年私たちは動員中に卒業を迎え、二度と懐かしの校舎で授業を受けることはなかった。

その年の夏、我が国の敗戦で戦争は終結した。

制服のこと

高10回卒 後藤 育弘

部活の後のコンパなどで仙
台市内の各高校の特徴を巧み
におり込んだ替え歌をよく歌っ
た。わが二高については「俺
は二高のしゃれ男、ズボンの
折り目は常磐線」ということ
であった。二高生はおおむね
きちんとしていたように思え
る。だからといって即おしゃ
れというのもおかしな話だ。
推測するにそれはきっとあの
夏服のせいだったに違いない。
実は二高には公立高としては
珍しく夏季用の制服があった。
グレーのいかにも涼しそうな
夏服である。しかし、多くの
生徒には不評だったようだ。
当時修学旅行中に撮った集合
写真にはその夏服がちゃんと
写っている。しかしそれもそ
の年だけで廃止になってしまっ
た。全校生徒集会であつさり
廃止が決まったからだ。それ
にしても当時は通常高校生が
着用する黒の制服まで廃止す
ることを考える生徒はいなかっ
たと思う。

最近在京旧制二中・二高卒

「心」を届ける

高26回卒 佐藤 健二(旧姓・貝山)



最近、勤務先の仕事で、高
齢者向け配食サービスを行っ
ている仙台市内のある団体を
取材し、大変、感銘を受ける
話を聞くことができた。その
団体の主な活動は、調理と配
達であるが、すべてボランティア
によって運営されている。
ここで届けられるのは、弁
当ばかりではなく、高齢者の
お役に立ちたいというボラン
ティアの「心」である。高齢
者の側も配食の際、「心」を
開き、それが感謝の言葉となっ
て表れ、ボランティア活動の

え制服のない高校はない。制
服を廃止するなどやはり二高
生はしゃれ男なのだろうか。
それにしても淋しい限りであ
る。あの朝日をかたどった校
章や襟章に憧れて私は二高を
選んだのだから。

部活動報告

今年にかける抱負

水泳部

部長 桂嶋 勇輔

三年間練習は厳しく心身の
限界に挑むものであった。し
かし、月日をかけて鍛え上げ
たこの肉体は、たのもしく、
強さを感じる。まさに向かう
所敵無しの心境である。又、
数々の試練を共に乗り越えた
仲間が心から信頼できる。そ
の絆を見せつけよう。

目前に迫っている県総体で
は、皆死力を尽くし、最高の
記録を残してみせる。

北陵健児いざゆかん。
やるぞ総体スィススィ

水球部

部長 潮田 資秀

今年は「勝つ」年である。
三年生六名、二年生二名、一
年生七名の総勢十五名で、東
北の強豪チーム達に「勝つ」
年なのだ。練習はしてきた。

サッカー部

部長 渡辺 光

これで勝たなければ、練習に
付き合っ指導してくださる
OB方に申し訳が立たないとい
うものである。
黒工に勝ち、秋田西に勝ち、
青商に勝ち、山工にも勝ち、
そしてインターハイに出場す
るのだ。自分達にはそれがで
きると信じている。のちの後
輩に黄金世代と呼ばれるよう
な立派な戦いをしたい。

県大会が終わった時に、悔
いが残らない満足のいく結果
だったと言えるようにしたい。
県大会はトーナメント戦なの
で、負けたらその時点で引退
だ。3年間、このサッカー部
でやってきた全てを出し切れ
ずには終われない。一戦一戦
に全力を出していきたい。そ
して、自分に満足のいく戦い
をすることにより、次への目



標に向かって突き進むことができると思っています。

硬式野球部

部長 金森信之介

今年はズバ抜けた選手もいないのでチームのまとまりを意識して戦ってきました。しかし思ったように戦えた試合はあまり多くはありませんでした。夏の大会では春の大会での課題をしっかり克服し、甲子園目指して、自分達の目指している試合をしたいと思っています。またチームにたずさわっていただいている人や、野球をやらせてくれている家族に感謝の気持ちを持って最後の最後まで野球を楽しみた

と思います。

ラグビー部

部長 馬場健太郎

現在ラグビー部は部員数十六名で活動しています。今年は、『心からラグビーを楽しむ』ということを胸に刻み、怪我には十分に注意を払い、懸命かつ紳士的な態度で日々の活動に臨む所存です。また全国花園予選、新人戦においては、チーム一丸となり一戦でも多く試合をすることを目標とし、対一高定期戦では、昨年に次いで勝利を収めることを予定としています。今後のラグビー部の飛躍と発展を願い、『今年にかけの抱負』とさせていただきます。

ハンドボール部

部長 木皿 匡憲

あとわずかが高総体である。今までの二年間の集大成とも言えるべきこの大会で、私は単なる勝ち負けではない何かを得たい。いや、得るというよりも確認するといった意味が強い。入学してから今まで、私は多くの時間を部活動に費

やした。その中で新たな自分に気付く、自分の内面を深く掘り下げる努力をしてきた。もちろん、心だけではなく、心技体においてである。胸を張って試合に臨みたい。やってよかったと思えるよう、全力を尽くすつもりである。

フエシング部

部長 早坂 達哉

95年の中断から復活して今年でフエシング部は四年目に突入しました。エペでは総体三位や中島杯準優勝など、早くも二高フエシング部の頭角を表しています。それには顧問の嶺岸先生、OBの先輩方の御指導あつての事で、私達はとても感謝をしています。今年は更に上位進出を狙い、練習を重ね、数々の栄光を生み出して来た二高フエシング部の伝統を引き継ぎ、その名を轟かせて行きたいと思っています。

バスケットボール部

部長 鳴海 圭亮

来たる六月七日より三日間、三年間の部活動の集大成であ

る高校総体を戦い抜くこととなります。今年は優勝するチャンスがあると期待され、もちろん部員全員が優勝を目標として練習してきました。全国各地で活躍なさっているOBの方々の期待に応えるべく、そして何より自分たちの目標を達成すべく、持てる力を大舞台で存分に発揮したいと思っています。藤垣先生、樽野先生、絶対にインターハイ行きましょう。



テニス部

部長 白井 高幸

現在、テニス部は部員53人とかなりの大所帯である。また、テニスコートが体育館工

事の為使用できず、厳しい練習環境を強いられている。そんな中での今年の目標は、ぜひ新人戦団体優勝だ。これまでに先輩方が達成されてきたように、僕達の時代もこの目標は必ず実現させようと思う。学校のテニスコートが使えないという逆境の中で限られた時間を集中して練習する。それが出来る部の雰囲気作りをこの一年間、部長として心がけていきたいと思う。

ソフトテニス部

部長 中谷雄一郎

団体戦ベスト8。これが我がソフトテニス部の毎年の目標です。昨年は、先輩方が惜しくもベスト8を逃したものの、強豪相手に互角のすばらしい戦いを見せてくれました。今年は、その勇姿を胸に先輩方の成し遂げられなかったベスト8を達成し、そして先輩方が敗れた相手に去年の借りを返そうと思います。今年は例年に増して厳しい戦いを強いられることになりそうですが、どんな相手にせよ自分たちのやってきたことを信じて戦うのみです。

卓球部

部長 石崎真一郎

我々卓球部一同の目指す所は、成績の向上はもちろんのことではあるが、やはり「卓球」という球技をもっともっと好きになること」であると思う。卓球を好きになるということは、すなわち練習が好きになることであり、又謙虚になることである。そしてこれは自然に結果として表れてくるものだと思う。

これからの二高卓球部は、この「本当に卓球が好きな部員」を一人でも多く増やし毎日練習に励んでゆきたい。

バレーボール部

部長 杉田 淳志

早いもので新チーム結成からもう一年が経とうとしている。市民総体準優勝という華々しい結果に始まった我々だが、県ベスト8に入れないまま最後の総体を迎えることになってしまった。その総体で、我々はベスト8をかけ、昨年度何度もベスト4入りを阻まれた白石工業と対戦する。先輩方が涙を飲んだ昨年のリベンジ

を果たすためにも、何が何でも勝ちたい。やるべきことはやった。あとは、自分を信じ、仲間を信じ、チーム一丸となって戦うだけだ。



バドミントン部

部長 斎藤 祐樹

バドミントン部は三年生が中心となり、これまで高総体に向けて一丸となり練習してきました。部員が多く、全員がコートに入れないという決して恵まれた環境ではないものの、いい結果を残すため一人一人が努力し、励ましあいました。そして今までお世話になった先輩達や顧問の先生方、そして両親の協力に感謝

弓道部

部長 福原 健

し実力を十分に発揮できるようにがんばりたいです。

弓道は動きの少ないスポーツであり、そのため精神的な強さが必要となる。特に大会となると、なおさらの中への欲やあせり、不安などを感じる。これに関して教本には、その時の動作に集中しろ、とあった。射法には八つの動作があり、その一つを行ってやる時にはそれにとことん集中する。その次の動作のことさえ考えない程に集中すれば、自分の弱さに打ち勝つことができる。これを大会で実践し悔いの残らない試合をやりたい。

柔道部

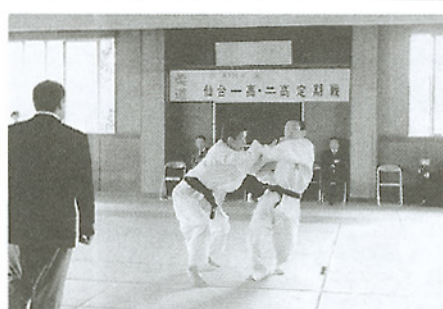
部長 上野 広基

今年度は例年になく多くの新生が入部し、部活の雰囲気は明るく、活気に溢れたものになっていきます。

先日行なわれた柔道定期戦では敗れてしまったのですが、部員一人一人が決意を新たに

し、高総体へ向け日々稽古に励んでおり、団体戦では必ず予選突破を目指したいと思っています。

そして、何よりも悔いの無い試合をすることが大事だと思うので、全力を尽くし、精一杯頑張ります。



剣道部

加藤 大輔

一年生が入部してきて二カ月が過ぎ、私達はここ二、三年に比べ、多くの部員で活動しています。また、顧問である大野先生のご指導を受け、各部門技術と精神の向上に日々励んでいます。このような環境の中、今年度は部員の実力が

空手道部

部長 小濱 大輔

拮抗しているため互いに切磋琢磨し、レギュラー争いも激しくしていきたいと思っています。そして今年度は東北大会出場も可能な年だと思うので、これを目標として練習に励んでいきたいと思っています。

空手道に限らずとも、すべての武道は、日々の稽古の積み重ねのみによって身につけていくものである。と、同時にそれは、継続してされなければまったく無意味で、またはつきりとした完成は存在しない。よって稽古はつらく厳しい。しかしその中で、絶対的な強さや礼儀伝統、相手への敬意等を身につけることに大きな意義があるのだ。我々空手道部は、一生を通して、洗練された精神と研ぎ澄まされた集中力を養えるよう毎日精進していきたい。

合気道部

部長 永澤 志紀

合気道は基本的に対外試合がないため、三年生が引退し

た今、二年生は一年生をどれだけ上達させられるか、また自らがどれだけ上達できるかの二点が目標となる。力量のない自分たちがどの程度やっていけるのか正直言って不安であるが、一日一日焦らずしっかり練習し、稽古の一つの通過点、いやそれ以上に区切りとも言える、北陵祭での演武会まで部員が着実に力をつけていけるようにしたい。

山岳部

部長 井上 千博

まず初めに山岳にも総体はありません。速さを競うわけでもなく、体力や歩行技術、知識、準備などをみて点数を付けられて順位を決められます。

今回の会場は南蔵王。道路が山頂付近まで通っているのが身近な山ですが、県内最高峰の屏風岳などがありなかなか大変です。去年にはいかなかった後輩もできたので、彼らの手本となるようにすこしでも上を目指し、悔いの残らないように全力を尽してがんばりたいと思います。

ヨット部

部長 砂川 透吾

今年は部員不足のため、我がヨット部は総体にも参加できない状態になってしまいました。よって今年にかけの抱負として、まずこの部員不足を解消するということを目標としたいと思います。

また、今の状態でも参加できる国体予選で、満足のいく成績を残せるよう頑張りたいと思います。

このほかにも色々頑張らなくてはならない場面に遭遇するでしょうが、そのたびに悔いが残ることのないようにしていきたいと思います。

軟式野球部

部長 尾崎 敦

去年、一昨年の高総体で軟式野球部はいい結果がでせずに悔しがる先輩方を見てきました。その先輩方のためにもなんとしてでも勝ち進んでいきたいです。そのうえ、今年のチームでは公式戦であと少しというところで勝ちを逃し、

苦しい思いを味わってきたので、今度こそはチーム一丸となり

最高の試合が出来れば幸いです。

総体では最後まであきらめず、悔いが残らないように野球を楽しみたいと思います。



器械体操部

部長 関 健

体操部の今年の抱負はやはり「インターハイ出場」です。去年はあと一步のところ出場を逃してしまったので、今年こそは念願の出場を果たしたいです。

といっても実は体操部は部員二名でまだ正式な部として認められていません。しかし、二高の名を背負って総体に挑むのですから、名に恥じない

スキー部

部長 臼井 葉月

ように精一杯にがんばることにも抱負であると考えています。部員二人とも今年が最後なので、悔いの残らないようにがんばります。

昨年度のスキー部は、二人とも競技スキーを始めたばかりということもあり、出場した大会は新人大会のみでした。また、春から秋にかけてはほとんど活動せず、自主トレーニングが中心になっていました。今年度は県総体にも出場するので、その点を改善して冬に向けて鍛錬していこうと思っています。また、新人大



定期戦速報

今年から、硬式野球の定期戦が一戦形式となったが、三部定期戦（バスケットボール）と日程が重なったこともあり、雌雄を決する一戦勝負に両チームともすばらしい集中力をみせ、例年以上の熱戦が展開された。

まず元旦恒例のラグビー定期戦は、幸先よく二高が22対12で快勝した。年度が変わって五月十日には、軟式野球の定期戦が開催された。今年から評定河原球場で開催することとなり、応援にも例年以上のOB、生徒、父兄が駆けつけた。試合は一高が先行したが二高がすかさず逆転、しかしすぐさま一高に再逆転され、そのまま逃げ切られるかと思えたが、二高が後半驚異的な粘りをみせ、同点にして延長

会では満足な結果を得られなかったのが、合宿等を通じてレベルを上げ、もっと上の成績を目指して活動していくつもりです。

にもつれこみ、延長十一回二点を勝ち越してそのまま逃げ切り、定期戦三連勝を飾った。その翌週五月十七日には、まず、午前中にバスケット・バレーの定期戦が開催された。バスケット部は、昨年の新人戦で準優勝を飾って、総体優勝を目指すチーム。その勢いをそのまま持ち越して74対60で圧勝した。バレー部も全日本ジュニアで活躍する柴小屋等の活躍で、3-1で快勝、総体での活躍をうかがわせる試合であった。

そして当日午後一時半に硬式野球定期戦がプレーボール。二高は一回裏にすかさず二番佐藤の三塁打で先制したが、その直後の二回表にエース岡



崎が逆転の2ランHRを浴び、その後三回にも4点をとられ、苦しい展開となった。二高は三回に2点、五回にも2点をあげ、反撃ムードを作り大いに盛り上がったが、6・7回に追加点を取られ、反撃も及ばず5対9で惜敗した。続いて五月二十四日には柔道の第101回定期戦が行われ、二高は主将の上野などが健闘したが、惜しくも敗れた。



◆ラグビー(1/1) 於一高
仙台二 22-12 仙台一

◆軟式野球(5/10)
仙台二 0300000110002 7
仙台一 1400000000000 5

◆三部定期戦(5/17) 於一高
仙台二 0300000110002 7
仙台一 1400000000000 5

去る二月二十八日、本校講堂にて高校55回生の同窓会入会式が挙行された。新しい常任委員と名簿委員は次のとおり。また代表として、千葉祐介君が挨拶した。55回生の今後の活躍を期待したい。

◆常任委員一覽◆
三年一組 大槻悠一朗
三年二組 高橋研太郎
加藤 貴宏

同窓会入会式 厳粛に挙行!

◆代表幹事六組
◎名簿委員代表
二組 加藤 貴宏

◆退任の先生方
佐藤 三之 校長
山本 高義 教諭(国語)
菅原 孝之 教諭(地歴)
福田 誠 教諭(地歴)
佐藤 俊一 主任技師

◆転任の先生方
金田 幸夫 教諭(保体)
(スポーツ健康課)
菊地喜和子 主任主査
(宮城広瀬高)

今春の人事異動

梅原登世子 主事
(西多賀養護学校)

遠藤 和也 技師
(県工業高校)

早坂 美香 代替講師
(家庭)

佐藤 昌孝 非常勤講師
(理科)

田野 大河 非常勤講師
(芸術)

千葉 瑞枝 代替事務員

早坂 重行 教諭(国語)
(多治見北高校)

山本 高義 教諭(国語)
(再任用)

渡邊 重雄 教諭(地歴)
(富谷高校)

金山 秀裕 教諭(保健体育)
(仙台西高校)

伊藤 博之 教諭(地歴)
(泉館山高校)

佐藤 隆信 校長(国語)
(宮城県教育庁)

佐藤 真由美 代替事務職員
(理科)

阿部 一 非常勤講師
(芸術)

松井 紀彦 非常勤講師
(芸術)

鶴田 秀大
村上 智彦
水口 亮平
岡崎 正徳
野崎 壮一郎
佐野 拓也
千葉 宇弘
千葉 祐介
千葉 義直
大内 康太
沖田 啓
青木 峻二
八木 友貴
千葉 祐介

三年三組
三年四組
三年五組
三年六組
三年七組
三年八組

仙台二 74-60 仙台一 (27勝) (26勝)

仙台二 3-1 仙台一 (25勝) (28勝)

仙台二 02401110009 5
仙台一 10202000000 5

(通算優勝成績)
25勝24敗9引き分け

柔道(5/24) 於一高
五人残して仙台一の勝ち
(45勝) 4引き分け (52勝)

バスケットボール
バレーボール
硬式野球
於宮城球場

平成15年度 大 学 入 試 結 果

国立大学

大学名	計	現役生	浪人生
北見工大	1		1
北海道大	13	4	9
東 北 大	文	8	4
	教	2	2
	法	8	5
	経	6	2
	理	8	4
	工	25	12
	医	4	4
	歯	2	1
	薬	6	4
	農	5	1
小計	74	35	39
宮城教育大	2	1	1
弘前大	1	1	
岩手大	12	4	8
秋田大	3	2	1
山形大	13	6	7
福島大	3		3
茨城大	1	1	
筑波大	4	3	1
宇都宮大	2	1	1
埼玉大	4		4
千葉大	3	3	
東京大	7	4	3
東京学芸大	2	1	1
東京農工大	1	1	
東京工業大	2	1	1
電気通信大	5	2	3
一橋大	3	1	2
横浜国立大	3	2	1
新潟大	3	2	1
金沢大	3	1	2
名古屋大	2	1	1
京都大	8	4	4
大阪大	6	6	
神戸大	2		2
九州工大	1		1
長崎大	1		1
国立大学計	185	87	98

公立大学

大学名	計	現役生	浪人生
岩手県立大	1		1
宮城大	5	2	3
会津大	1	1	
福島医科大	2		2
高崎経済大	1		1
東京都立大	2		2
都立科学技術大	1		1
横浜市立大	2	2	
愛知県立大	1	1	
名古屋市大	1	1	
京都府立医科大	1		1
大阪府立大	2		2
神戸市外大	1		1
公立大学計	21	7	14

大学校

大学名	計	現役生	浪人生
気象大学校	2		2
防衛大学校	4	3	1
防衛医科大学	1		1
海上保安大学校	1		1
大学校計	8	3	5

私立大学

大学名	計	現役生	浪人生
岩手医科大	4		4
東北学院大	16	6	10
東北福祉大	1		1
東北薬科大	3		3
麗澤大	1		1
青山学院大	10	3	7
亜細亜大	1		1
学習院大	4	2	2
北里大	2		2
杏林大	1		1
慶應義塾大	22	11	11
国学院大	1		1
工学院大	1	1	
国士館大	1		1

大学名	計	現役生	浪人生
駒沢大	2		2
芝浦工業大	19	4	15
順天堂大	1		1
上智大	5	3	2
成蹊大	1		1
成城大	3	2	1
昭和大	2		2
創価大	2	2	
中央大	32	5	27
東海大	3		3
東京音楽大	1	1	
東京工科大	1		1
東京工芸大	2		2
東京電気大	5		5
東京農業大	6		6
東京薬科大	1	1	
東京理科大	32	5	27
東邦大	1		1
東洋大	1	1	
日本大	9	2	7
日本歯科大	2		2
日本獣医畜産大	1		1
法政大	13	1	12
星薬大	1		1
武蔵工業大	2		2
武蔵野美大	1		1
明治大	28	3	25
明星大	1		1
立教大	4		4
早稲田大	58	11	47
麻布大	4		4
独協医科大	1		1
聖マリアンナ医科大	1		1
金沢工大	1		1
豊田工大	1		1
同志社大	8		8
立命館大	33	5	28
京都造形芸大	1		1
関西大	2		2
甲南大	1		1
私立大合計	361	69	292

平成14年度 北陵館利用状況 (平成14年4月～平成15年3月)

	利用回数 (延べ)	主な利用団体
同窓会関係	19回	常任委員会、総務委員会、三役会、当番回期打合せ会、ひとよし会等
学 校 関 係	26回	学年集会、生徒会、講習、吹奏楽、応援団、クラス行事等
合 宿	8回	バレー部、柔道部、吹奏楽、応援団、バドミントン部等
外 部 関 係	33回	高文連、県教頭会、高体連柔道専門部、高野連、六校生徒会等

計 報

平成10年	11/6	林崎	裕二殿	高32回
平成12年	3/10	桑島	忠殿	中28回
	8/14	松田	部殿	中16回
	8/30	西内健一	郎殿	中34回
	12/28	芳賀	力殿	中35回
平成13年	1/9	浜野	弘明殿	高3回
	1/13	近藤	常寿殿	中44回
	4/30	及川	雄逸殿	高5回

平成14年	1/3	古山	顕二殿	中38回
	1/22	青砥	貞和殿	中40回
	3/17	山家	保殿	中32回
	6/25	北川	豊殿	中38回
	7/6	菊山	秀雄殿	中39回
	7/20	酒井原	毅殿	中36回
	9/28	佐藤	勇治殿	高3回
	10/3	安藤	丈夫殿	高4回
	10/5	安喰	英夫殿	高13回
	10/6	宇部	善満殿	中40回
	10/7	堀田	清治殿	中33回
	11/7	氏家	栄一殿	中33回
	11/10	千葉	正殿	中33回
	11/15	岩本	省吾殿	中35回
	11/20	豊島	信殿	中42回
	11/22	高橋	正義殿	高9回
	11/28	牛込	正勲殿	高14回
	12/2	畑岡	泉殿	旧職員
	12/9	渡辺	真殿	中43回
	12/20	若生	倫男殿	高10回
平成15年	1/6	斉藤	英二殿	高2回
	1/9	千葉	茂殿	高2回
	1/12	須藤	義秋殿	中41回
	1/13	我妻	正殿	中42回
	1/17	丸谷	和夫殿	中44回
	2/21	分部	道孝殿	高18回
	2/24	大友萬治郎殿		中46回
	3/2	鈴木陽太郎殿		中42回
	3/2	山本	博殿	中41回
	4/9	渡辺	定久殿	高2回
4/24	菊地	洋男殿	高4回	

北陵会が
活動を再開

昨年九月に再発足した北陵会は、昨年九月十三日に高26回現ベガルタ仙台強化部長鈴木武和氏(元ブランメル仙台監督)を迎え再発足パーティーを行ない、一回目、十一月十五日には高28回佐々木洋氏(石巻専修大学教授)を講師に、南極観測隊員として参加された経験から「氷山の陰か

4/25 三浦 精一殿 高4回
4/29 宮城 正俊殿 中39回
5/7 佐藤喜代治殿 中30回
5/11 板垣 金道殿 高4回



らが見える」という演題で開催いたしました。

平成十五年に入り開催した三回目は、四月二十八日に高20回榎セルコホーム代表取締役、新本恭雄氏に講師をお願いしましたが、「カナダで生まれて東北で育った輸入住宅」と題して国内の規制にも言及した刺激的な講演でした。六月十日には、高22回キリンビール(株)宮城支社長、斎藤紀夫氏にお願いし、「聴いて得するビールの話」という演題での楽しい会を予定しています。これから北陵会を通じて各分野に進出している仙台二高卒業生の活躍を伝えることが同窓の輪を広げていききたいと考えていますので、同窓諸

編集後記

平成十五年度春季号をお届けします。今年度より、好評の会員短信を大幅に増やして、ページが増えました。

生徒の活躍ぶりがうかがえるように工夫しました。総会の時には、いくつかの運動部がインターハイに出場を決めて、その報告ができればと思います。

今後とも、ご協力よろしくお願ひします。

文責 遠藤吉夫(高31回)

兄のご理解とご支援をお願いいたします。
興味のある方はぜひ北陵会のホームページをご覧ください。
ホームページ
<http://www.hokuryokai.com/>

お問い合わせは 高26回加藤幹夫まで、左記へご連絡ください。
勤務先 新陽ランドリー
FAX
〇二二一三七六一五五二二
eメールアドレス
slaudry@cocoa.ocn.ne.jp